

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	1	選択
担当教員			
船越 理恵			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	SS (社会)	202 (中級科目)

授業のねらい (概要)	近年に起きた政治、経済、国際、社会一般における事象をテーマとした論述演習を通じて、時事問題に対する自身の考えや見解を深めていくと共に、実際に時事論文を書く力を養う。授業はアクティブラーニングのスタイルで、学生一人ひとりの主体的な参加が求められる。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 授業の目的、進め方、評価方法、履修上の注意を確認していく。</p> <p>予習 (時間) シラバスの内容に目を通し、当該科目に関連する自分なりの課題や目標について考える。(90) 復習 (時間) オリエンテーションの内容を振り返り、当該科目を通じてどのような課題と向き合い、克服していくかを決定する (90)。</p> <p>第2回 時事問題と情報ソース 近年、国内外において注目されたニュース、社会動向、社会情勢に目を向け、時事問題への興味関心を高める。また時事問題のソースを調査し、最適な情報のキャッチアップ方法について検討する。</p> <p>予習 (時間) 利用しやすく、信頼しうる時事問題の情報ソースについて調べる。(90) 復習 (時間) 常日頃から時事ニュースをキャッチアップしていくための生活や習慣について検討する (90)。</p> <p>第3回 時事論文レビュー① 時事論文をレビューし、テーマに掲げられた問題に対する論考の切り口や視点の作り方を学ぶ。</p> <p>予習 (時間) 授業内で取り上げる論文についてあらかじめ目を通し、内容について理解しがたい箇所を確認しておく (90)。 復習 (時間) 授業内で取り上げた論文の要約を作成し、論文の骨組みを理解する (90)。</p> <p>第4回 時事論文レビュー② 時事論文をレビューし、テーマに掲げられた問題に対する論考の切り口や視点の作り方を学ぶ。</p> <p>予習 (時間) 授業内で取り上げる論文についてあらかじめ目を通し、内容について理解しがたい箇所を確認しておく (90)。 復習 (時間) 授業内で取り上げた論文の要約を作成し、論文の骨組みを理解する (90)。</p> <p>第5回 時事論文作成のポイント 論文基礎で学んだ内容の復習を通して、時事論文作成に際するポイントを理解する。</p> <p>予習 (時間) 論文基礎の授業内容を振り返り、論文作成に取り組むにあたって注意すべきポイントを復習しておく (90)。 復習 (時間) 通常の論文と時事論文の違いとを整理し、時事論文の作成にあたって留意すべきことを整理する (90)。</p> <p>第6回 課題演習①-1 指定された時事問題を課題に、論述演習に取り組む。授業時間内に書き上げ講師に提出し、添削を受ける。</p> <p>予習 (時間) 課題テーマに関する情報を収集し、当該問題への理解を深める (90)。 復習 (時間) 思うように作業が進められなかった箇所や難しく感じた部分について振り返り、自分なりの対策を考える (90)。</p> <p>第7回 課題演習①-2 前週に提出された文章の中からいくつかの取り上げ、内容について意見を述べ合う。</p> <p>予習 (時間) 課題演習のテーマと関連した時事問題に着目した論文を最低一本選び目を通し、内容を整理する (90)。 復習 (時間) 添削の内容を見直し、論文を修正する。(90)</p> <p>第8回 課題演習②-1 指定された時事問題を課題に、論述演習に取り組む。授業時間内に書き上げ講師に提出し、添削を受ける。</p> <p>予習 (時間) 課題テーマに関する情報を収集し、当該問題への理解を深める (90)。 復習 (時間) 思うように書き進められなかった箇所や難しく感じた部分について振り返り、自分の課題がどこにあるのかを考える (90)。</p> <p>第9回 課題演習②-2 前週に提出された文章の中からいくつかの取り上げ、内容について意見を述べ合う。</p> <p>予習 (時間) 課題演習のテーマと関連した時事問題に着目した論文を最低一本選び目を通し、内容を整理する (90)。 復習 (時間) 添削の内容を見直し、論文を修正する。(90)</p> <p>第10回 課題演習③-1 指定された時事問題を課題に、論述演習に取り組む。授業時間内に書き上げ講師に提出し、添削を受ける。</p>

第11回	<p>-----</p> <p>予習（時間）課題テーマに関する情報を収集し、当該問題への理解を深める（90）。 復習（時間）思うように作業が進められなかった箇所や難しく感じた部分について振り返り、自分なりの対策を考える（90）。 課題演習③-2 前週に提出された文章の中からいくつかの取り上げ、内容について意見を述べ合う。</p> <p>-----</p> <p>予習（時間）課題演習のテーマと関連した時事問題に着目した論文を最低一本選び目を通し、内容を整理する（90）。 復習（時間）添削の内容を見直し、論文を修正する。（90） 課題演習④-1 指定された時事問題を課題に、論述演習に取り組む。授業時間内に書き上げ講師に提出し、添削を受ける。</p> <p>-----</p> <p>予習（時間）課題テーマに関する情報を収集し、当該問題への理解を深める（90）。 復習（時間）思うように作業が進められなかった箇所や難しく感じた部分について振り返り、自分なりの対策を考える（90）。 課題演習④-2 前週に提出された文章の中からいくつかの取り上げ、内容について意見を述べ合う。</p> <p>-----</p> <p>予習（時間）課題演習のテーマと関連した時事問題に着目した論文を最低一本選び目を通し、内容を整理する（90）。 復習（時間）添削の内容を見直し、論文を修正する。（90） 課題演習⑤-1 指定された時事問題を課題に、論述演習に取り組む。授業時間内に書き上げ講師に提出し、添削を受ける。</p> <p>-----</p> <p>予習（時間）課題テーマに関する情報を収集し、当該問題への理解を深める（90）。 復習（時間）思うように作業が進められなかった箇所や難しく感じた部分について振り返り、自分なりの対策を考える（90）。 課題演習⑤-2 前週に提出された文章の中からいくつかの取り上げ、内容について意見を述べ合う。</p> <p>-----</p> <p>予習（時間）課題演習のテーマと関連した時事問題に着目した論文を最低一本選び目を通し、内容を整理する（90）。 復習（時間）添削の内容を見直し、論文を修正する。（90）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	本授業ではDPに記載される「学び続ける姿勢」を養う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・時事論文の書き方を身につける。 ・時事問題に対する自分なりの意見や見解を持つ。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については修正の上、次の授業時に返却し、必要に応じて個別に補足説明を行う。全体に共通する課題点や注意点については授業内にて解説する。
履修上の注意	履修者は各自、ノート、配布物を管理するファイルを用意する。
成績評価の方法・基準	授業中に実施する演習課題の結果30%、学修意欲30%、最終課題の結果40%
教科書	教科書は使用せず、適宜、授業内容に添った補足プリントを配布する。
参考書・教材	
備考	履修者の人数や状況等によって授業計画を見直し、学生に告知した上で、一部を変更したり順番を入れ替える可能性がある。
教員との連絡方法	メールを採用。連絡先アドレスは授業内にて周知する。